

Ⅱ 福祉教育プログラムを実施するまでの流れ

STEP1 今回のねらい・目的を決める

ねらい・目的を決めるまでのチェックリスト

先生が児童・生徒に学んでもらいたいこと・伝えたいことは何ですか？
先生が思い描くイメージを伝えられるようになっていきますか？

- ・区社協に相談する場合は、3か月を目安に相談してください。
- ・実施までの時間が短いと対応できない場合もあります。
- ・具体的な取組内容に悩んでいる場合は、検討段階から一緒に考えますので、ご相談ください。

STEP2 区社協に相談する

相談するまでのチェックリスト

具体的な取組内容が決まっていなくても、「福祉学習 相談シート」(42頁)を活用し、区社協に相談してください。先生と区社協担当者がスムーズに連絡を取り合えるよう連絡手段や連絡を取れる時間帯を確認しておきましょう。

①相談 → ②確認 → ③協力者調整 → ④決定の連絡

- ①「福祉学習 相談シート」(42頁)の項目を記入してください。(全ての欄が埋まっている必要はありません)
- ②記入したことを基に、区社協に電話などで相談してください。実施内容のイメージをお伝えください。
- ③プログラムへの協力をお願いするのは、講師(個人・団体)、協力ボランティア(個人・団体)です。協力者(講師)との調整には細かな確認作業が必要となりますので、お時間を頂きます。
- ④協力者(講師)が決まったら区社協から連絡します。次に事前打ち合わせの調整をします。

STEP3 事前打ち合わせ

事前打ち合わせまでのチェックリスト

協力者(講師)・区社協と行います。児童・生徒に先生が何を伝えたいか、講師が何を伝えたいか、お互いの思いをすり合わせます。また、児童・生徒達の現状や事前学習・事後学習で予定している取組内容を教えてください。教えてもらうことで、協力者(講師)も授業のイメージがしやすくなり、より効果的な内容につながります。

STEP4 実施当日

当日までの準備チェックリスト

安全や感染症予防に配慮した環境で行いましょう。

STEP5 活動を振り返る

終了後のチェックリスト

当日の児童・生徒や先生の感想、事後学習や振り返りの様子などを協力者(講師)や区社協と共有しましょう。また、気づいたことを今後の福祉学習に生かします。

■ ねらい・目的を決めるまでのチェックリスト

- ねらいや目的を決める
- 学年
- 人数

「福祉学習 相談シート」(42頁)を使用してください。



■ 相談するまでのチェックリスト

- 実施時期
- 実施場所
- 時間配分
- 実施内容
- 必要な機材
- 講師候補(希望があれば)
- 予算の確保
- 機材の確認



■ 事前打ち合わせまでのチェックリスト

- 福祉学習打ち合わせシートの準備
- 打ち合わせで確認することの準備
- 講師への説明資料の準備
- 当日のスケジュールで確認すること
- 必要機材の確認

■ 当日までの準備チェックリスト

- 講師が必要なものの準備
- 配慮事項の確認
- 謝金の準備(必要に応じて)
- 当日の講師対応(誰が迎えて、誰が教室まで案内するなど)
- 当日の会場準備

■ 終了後のチェックリスト

- 機材の返却
- 事後学習・振り返り